

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

人と地球に喜ばれる新たな価値を創造する。人の感性に寄り添うテクノロジーで未来をつくる

PBR
1倍以上

ROE
10%

2 中長期の経営戦略

1. 高付加価値の追求

ROIC経営を開始。デジタルキャビンへのシフト、不採算製品の縮小、製品ラインアップの絞り込みを実施

3. 経営基盤の強化

生産拠点再編・国内強靱化、SDV時代のソフトウェア開発強化、人的投資、バランスシートマネジメント実践

2. 次の事業の仕込み

スマートフォン関連に代わる次世代電子部品・デバイス市場を開拓。センサー領域を核とした新たな事業の柱を構築

4. 事業ポートフォリオ再編

コンポーネント事業（維持・拡大）、センサー・コミュニケーション事業（成長領域）、モビリティ事業（収益体質良質化）に位置付け

3 対処すべき課題

① 地政学リスク対応

- ・米国発動の関税対応（短期）
- ・サプライチェーン見直し（中長期）

② 市場競争の激化

- ・デジタルキャビン開発で中国資本企業と競争激化
- ・モバイル市場での技術コモディティ化に対するコスト対応力向上

③ 中期重要課題

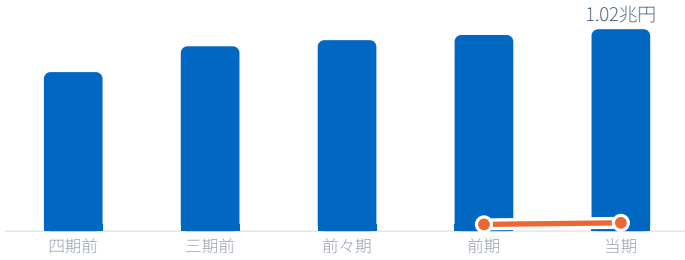
- ・モビリティ事業の収益化
- ・成長ドライバーの不在解消
- ・収益予想のボラティリティ低減

面接で使えるポイント

- ・感性工学を基幹技術として、ヒューマンマシンインタフェースで感動・安全・環境を提供する価値を実現
- ・デジタルキャビン、ロボティクス、ライフサイエンスなど新規市場開拓でコア技術を活かす戦略展開
- ・23カ国186拠点で約40,000種類の製品を展開し、2027年3月期PBR1倍以上達成を目指す中期経営計画2027

証券コード 6770

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高 1.02兆円	営業利益率 4.1%	財務健康度 46点 / 100点
-----------------	---------------	---------------------

将来性 曇り / 就活偏差値 53.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収 691万円 電気機器内 122位/225社	平均年齢 41.7歳 電気機器内 160位/225社	平均勤続 16.7年 電気機器内 92位/225社	女性管理職 3.9% 電気機器内 127位/182社	男性育休 72.9% 電気機器内 109位/171社
----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 7/31(金)「アルプスアルパイン夏祭り2026」ハーマー&

